

FOCUS スリラーナイト2024 公民館がお化け屋敷になっちゃった



お化け大集合



令和6年10月13日(日) 岩舟公民館において、岩舟地域の小学校4校のPTA会員及び地域ボランティア「アシストネット」が協力して合同でお化け屋敷イベントを開催しました。

このイベントは、岩舟ブロック内4つの小中学校PTA会長達が栃木市PTA連合会総会での意見交換会で、学校行事だけでなく地域の行事等、様々な活動が増えていく中で「岩舟地域の子どもの為に協力して何かできないか」と話が出たことがきっかけで、スリラーナイト実行委員会を組織して何度も打ち合わせを重ねてきました。

初開催ということで参加者が集まるのか不安もありましたが、募集よりも多くの子どもから大人まで多世代にわたり参加していただきました。また、待機場所の体育館を利用してフォトスポット、ゲームコーナー、ボディペイント等を行い、お化け屋敷以外にも楽しんでもらえるように工夫しました。



小野寺小学校
PTA会長 熊倉弘之

今回のスリラーナイトを通じて地域の「大人同士のつながり」、「大人と子どものつながり」を醸成し、体験活動の機会を提供できたのではないかと思います。

地域交流イベントとして、今後も取り組んでいきたいと思っています。

栃木県教育委員会との意見交換会

令和6年10月18日、県庁南別館の教育委員室にて、教育長様、生涯学習課長様はじめ5名の職員の皆様にご出席いただき、本会から会長以下9名が参加し意見交換会を行いました。揚石会長が日頃のご協力の感謝を申し上げ、県教委と共に連携してPTA活動を進めていきたいという意思を伝え、和やかな雰囲気の中、会議をスタートしました。阿久澤教育長様からは、本県の教育の現状として、ICTの活用状況や問題点、いじめ・不登校者数の増加と対策、特別支援教育への更なる支援などの話がありました。

今回の意見交換会のテーマは二つ

①持続可能で魅力あるPTA活動の推進について
最近のPTA非加入問題、人口減によるPTA活動費の減少問題、更にはPTA不要論まで出ていますが、PTAは、学校と共に子ども達を大切に育み幸せに生きるための手助けをする存在として必要であることを再認識しました。

②教職員の働き方改革について
県教委では、校長先生方の研修会・モデル校授業・業務改善推進委員会を行うなど、様々な対策が取られており、コミュニケーションなどの推進や地域との連携をさらに図ることで、働き方改革につながるとのお話をいただきました。

地域と学校の橋渡しにPTAもお役に立ちたいと感じました。

盛りだくさんの内容の1時間でしたが、今後も学校とPTAが連携して活動していけるように、県教委と県P連の意見交換会の機会はとても大切な時間であると思いました。

県P連監事 服部 由佳



県教委との意見交換会



【組織編成委員会】報告

組織編成委員会委員 山本和紀

令和6年度の総会におきまして、特別委員会の1つとして、本委員会があります(本年度総会資料P30) 執行部・理事・3つの常置委員会からメンバーを選出し、合計8名で構成されております。栃木県PTA連合会の組織的な部分で、見直すべきところを検討し、活動として変える部分と変えてはいけない部分など協議して参りました。抽出された課題は、正副会長会議の議題にあげ、協議をし、再度当委員会でも議論するという流れで進めて参りました。

趣旨は「やりがいのある県PTAの活動をめざす」という点に尽きます。裏を返しますと、県PTAに出向して下さる方だけでなく、県内の会員の皆様にも、県PTAの存在意義を示すにはどうしたらよいか、というテーマでもありました。今現在行われている会議や委員会、また県PTAの事業に参加された皆様、ご自身の単位PTAにお戻りになった際、有意義な情報を持ち帰ることができる活動をめざすにはどうしたらよいか、という課題は、皆様の単位PTAの活動の中でも、思い当たる点があるのではないのでしょうか。そんな課題を、組織を再編成することで改善することはできないか。委員会の職務分掌を見直すことで有意義な県PTA活動につなげることができないか、という具体的な案を突き詰めて、委員会を開催して参りました。

コロナ禍を経て、PTAの存在意義を、考えなくてはいけない時期になったのは、全国的な傾向かと思えます。その中でも、より良い栃木県PTA連合会に、積極的に変えていくというこの姿勢は、揚石会長をはじめ執行部や事務局の皆様のご熱意と、PTA活動を大切に思い子ども達のより良い教育環境のために真摯に活動する、理事や保護者の皆様の姿勢の賜物かと思えます。挑戦し続ける栃木県PTA連合会を引き続きよろしくお願い申し上げます。